

## 町政を問う！



尾元 武 議員

### 本町の玄関口の観光資源の整備と将来ビジョン

**問** この度の（平成28年度～平成32年度）周防大島町過疎地域自立促進計画の観光事業においても「飯の山展望台改築事業」が概算事業費1億3,800万円の計画予算で予定されている。

飯の山は実に風光明媚な本町の隠れた観光資源として、筆頭に挙げられる名所である。

しかしながら山頂までの道路は狭隘で対向車の離合もままならぬ状況。この度の事業を通して本町の玄関口の観光資源をどのように展開されるのか、そのビジョン展望を尋ねる。

また、来年度予算に計上の「観光施設・サイン看板設置事

業」の内、大島大橋南詰法面のサイン看板においては玄関口であるがゆえにイメージが大切と思う。

話題性も含め、より本町に馴染んでもらうためにも、公募もひとつの手段と考えるが如何か。

**答** 本町では交流人口100万人を目標にした各施策を推進している。

今後も食による観光振興やスポーツ観光誘致の推進、各メディアへの露出等も積極的にを行い、更なる知名度向上を図り魅力ある観光地づくりに努めていく。

次に、雄大な瀬戸の渦潮を眼下に望む飯の山展望台については老朽化による劣化が著しい状況にあるため、有利な補助事業を検索し、事業実施の見通しが立てば、改築を検討していく。飯の山の展望台整備計画とあわせて、県道飯の山線の改良要望も検討したい。

観光施設・サイン看板設置事業については、観光産

業の更なる発展を図るため、各観光施設入口に、ランドマークとしての機能を持たせた共通型の看板を設置しようとするもの。

また、大島大橋南詰交差点の山側法面には周防大島サイン看板の設置を計画している。

ローマ字表記で町名を表すLED看板で来訪者に強い印象を与え更なるおもてなしのこころをあらわすことを願っている。現在、関係機関と設置に向けて協議をしている。

また、公募の提案を頂いたがサイン看板のデザインは、本町浮島出身で東京在住の新村則人さん監修プロデュースによるものを考えている。

**要望** これまで観光協会の協力の下、シーズンには『ALPHA』横文字で観光に来られた方々をもてなししているところ。

アロハはハワイ語で「こんにちは」「さようなら」「おはよう」「ありがとう」等の温かく迎えることのできる多様性のある言葉。

カウアイ島との姉妹縁組を結ぶ島としてイメージアップせんがためにも必要と思うが、文字が重なってアンバランスになるのではと危惧するところ。関係者とよく協議して、進めて頂きたい。



飯の山展望台から大島大橋を望む